

事業計画書

団 体 名	特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑	
事 業 名 称	幼稚園降園後の親子の居場所づくり事業	
事 業 実 施 期 間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 令和8年 4月 1日 ~令和9年 3月 31日	
1. 事業の目的	長期的な視点(複数年単位)で記入	(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) 近年2歳児から子どもを幼稚園に通わせる傾向にある。親は園から帰った子どもとの関わり方がわからず、習い事に通わせる事により、親子と一緒に過ごす時間がなくなってきている。そのような不安な育児を同じ立場の親子が集まって、自ら子育ての学びを探ったり、周りの親とコミュニケーションをとる機会の不足を解消する。
		(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) 幼稚園児の保護者から、近隣に遊べる場所がないという声を聞き、親子が同じ年代の親子と会って情報交換ができる場を提供したいと考えた。 保護者がそれぞれの趣味や興味のあることを話す機会を作り、学び合うことで子育てに自信を持ってもらえたらと考える。
		(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) 少子化になり、近所にふれあえる同年代の子どもが少なくなり、結婚や出産で孤立した状態が長く続き、身近に話せる人が少なくなっている。同じ立場の人と関わる機会がなくなったことが原因であると考えます。
		(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) 親子と一緒に過ごす居場所を提供し、他の保護者と子育てについて話したり、また持っているスキルをお互いの子育てに役立てる機会を提供する。
	事業実施期間の視点(単年度)で記入	(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) 香里ヶ丘周辺の幼稚園児と親の幼稚園降園後の居場所不足を解消する。
		(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 <枚方市民への効果> (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) 地域の幼稚園児の親子の交流の場所になる。在室時に、絵本の読み聞かせや子どもの成長に役立つコミュニケーションを育てるボードゲーム体験や音楽に触れる機会をつくり、豊かな家庭教育の手助けをする。スキルを活かしたい保護者が講座などを開催希望する場合、その過程の手助けをする。 子どもとのコミュニケーションを助ける絵本について学んでもらい、日々の読み聞かせを推進する。 <確認方法> (参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) 毎回参加数の確認をする。日常的に参加者とコミュニケーションを取り、感想や要望を聞く。

2. 事業内容等	<p>(1) 事業の対象者 (例: 枚方市内に住む 10 代から 20 代の人 など具体的に) 主に香里ヶ丘周辺の幼稚園児と親と兄弟姉妹</p> <p>(2) 事業の実施場所 (移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること) 特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑室内</p> <p>(3) 事業内容 4 月より祝日・お盆・年末年始を除く毎週火曜日と木曜日にえほんのお部屋ひまわり畑を幼稚園児の親子とその家族に開放する。時間は 14 時 30 分から 17 時。 毎月 1 回親子で体験できるボードゲーム会、月 1 回ウクレレ講座などを開催する。 また今年度から、子どもたちを自由に遊ばせている間にママたちが自由におしゃべりできるママカフェを毎月 2 回開催する。 デジタルツールの急激な普及により、その影響の良し悪しがわからない中で迷いながら子育てをしている親に対して、そのような今を子どもと生きるためのコミュニケーション能力をつけるブレイクしゅっぱぽっ(読み聞かせ・ふれあい遊びを実施)を NPO 法人「絵本で子育てセンター」の絵本講師に月 1 度開催してもらう。 6 月・10 月頃 アイシングの体験会を行い、親子で一緒に楽しむ場を作る。 地域の高齢者にボランティアを募り、小さな子や親とのふれあいの場を作る。 親が自主的に自身の持つスキルを他の親子に教えたいなどの希望があれば、その機会をつくるなど外部講師による親子のためのイベントを開催する。</p>
3. 実施スケジュール	<p>(事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること) ※添付も可</p> <p>4 月 開室開始とイベントの募集</p> <p>4 月～2027 年 3 月 ブレイクしゅっぱぽっ・ボードゲーム会・ウクレレ教室・ママカフェ開催</p> <p>5 月 アイシング体験会広報</p> <p>6 月・10 月 アイシング体験会(講師の都合により開催月に変動あり)</p> <p>令和 9 年 3 月 事業成果の集約 報告</p> <p>その他、製作やイベント(夏祭り、ハロウィン、クリスマス等)</p>
4. 事業実施の体制	<p>(1) 人員体制 (実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること)</p> <p>火・木曜日ボランティアスタッフ 2 名 ・夏祭り・ハロウィン・クリスマスイベント時はボランティアスタッフをもう 1 名追加</p> <p>高齢者のボランティア 1～2 名(参加希望者のみ、2 時間程度)</p> <p>(えほんのお部屋ひまわり畑にて長期ボランティア経験のある保育士含む)</p> <p>(2) 事業対象者の見込み数 (例: 参加者●名など現時点の想定人数を記入すること)</p> <p>平均 6 人/日(令和 7 年度実績:平均 6 人/日(令和 7 年 4 月～令和 8 年 1 月)より算出)</p>

	<p>(3) その他の体制（寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること） みんなの居場所「よりみち」、ひらかた市民活動支援センター、ちいさな絵本ショッブブックプランター に広報の協力を依頼する。</p>
5. 自立的・継続的に活動していくための工夫	<p>(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること) 絵本に関する活動を通じて、地域のボランティアのつながりを大切にしている。行政からも各種事業のつながりができ、団体を知ってもらえるようになってきている。財源は親子からではなく、地域保育園とのかかわりの中で絵本講座等を通じて確保を目指していく。講座に関しては多少の講習費を負担してもらう。</p>
6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み	<p>これまで、約3年間に渡り、就園児の親子の居場所としてブレイクの一むを開室した。幼稚園降園後は親子での製作の機会が少なくなるので、親子で楽しんでもらうための製作や季節ごとのイベントを開催した。兄弟姉妹と一緒に安心して遊べる、親子で楽しめる場所として令和8年度も開室したい。幼稚園の長期休みは下のお子さんのお昼寝の関係で午前中連れてくることができない場合や夏休みなど長い休みの間の友達と遊べる居場所が欲しいとお母さん方の要望により長期休みも引き続き開室するようにし、更に利用しやすい居場所として地域の親子に利用を広めていく。また、人気のあるアイシング体験会を開き、親子と一緒に参加して楽しむ場を予定している。令和7年度に実施して好評だった地域の高齢者にボランティアで来てもらい、子どもや若い世代の親ともコミュニケーションの場として多世代の交流の場を作る。</p>
7. 事業のPR方法	<p>(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること) SNS を通じての毎月の広報と毎月発行している「ひまわりママタイムズ」にて PR していく。 協力団体を通じて、地域の高齢者のボランティアを募集する。</p>
8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定	<p>助成金等の予定 有り (申請中を含む) ・ <input checked="" type="radio"/> 無し (本補助金のみ) 助成金等の名称 () 申請中の場合、申請結果が確定する予定日 (令和 年 月 頃の見込み)</p>
9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など	<p>6月・10月開催の「アイシング体験会」は料理をやってみたい子どもたちの好奇心を引き出し、親子と一緒にアイシングをして楽しんでもらう。 ママカフェを開催し、子どもたちが自由に遊んでいる間においしい茶菓子とコーヒーを飲みながらおしゃべりできる時間を作る。 毎月の絵本講座「ブレイクしゅっぽっぽ」では子どもとのコミュニケーション能力をつけてもらい、日々の絵本の読み聞かせを推進する。 ボードゲームは説明書を読んでもわかりにくいゲームやいろんなゲームをゲームコーディネーターと一緒に遊ぶことで、家庭でのコミュニケーションに利用してもらえるよう、親子で体験してもらう。ウクレレもみんなで一つの音楽を奏でることの楽しさを学んでもらえるようにする。 どの内容も、幼稚園児と降園後の時間をどう過ごしているか、関わり合いに困難を感じている親子の助けになるものとして知ってもらいたい。 ひまわり畑として、未就園児から継続的な保護者との関わりを続けていく為の取り組みにしたい。</p>

事業収支予算書

団体名： 特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑

補助対象事業の名称：	幼稚園降園後の親子の居場所づくり事業
------------	---------------------------

事業実施期間：2026年 4月～ 2027年 3月

【収入の部】

項 目 ※1	予算額(円)	内容説明 (積算根拠等)
枚方市補助金(一般) (A)	178,000	補助金交付申請額 (一般寄附)
枚方市補助金(団体) (B)	41,000	補助金交付申請額 (団体希望寄附)
自己資金	150,875	
会費	21,000	会員会費 前期15家族×600円、後期20家族×600円
参加費	6,400	ウクレレ (100円×2家族×12回=2,400円) ・ゲーム (100円×1家族×12回=1,200円) ・ブレイクしゅっぽっぽ (100円×1.5家族×12回=1,800円) ・アイシング (100円×5家族×2回=1,000円)
合 計 (C)	397,275	

【支出の部】

項 目	予算額(円)	内容説明 (積算根拠等)	
補助対象経費	ひまわり畑ボランティア謝金	240,000	毎週火・木93回×2名×1,250円と夏祭り・ハロウィンとクリスマスイベント6回×1名×1250円 (通常より1人増加日)
	講師料 (ウクレレ教室)	24,000	2000円×12回
	講師料 (ゲームコーディネーター代)	24,000	2000円×12回
	講師料 (ブレイクしゅっぽっぽ)	48,000	2000円×2名×12回
	材料費 (ママカフェ)	24,000	(紙コップ・コーヒー・紅茶・小麦粉、卵などのお菓子材料) 1000円×24回
	広報印刷費	1,275	コピー用紙等
	講師料 (アイシング講師)	4,000	2000円×2回(6月・10月頃開催予定)
	製作費	12,000	フェルト・両面テープ・シール等の製作用材料費 (1000円×12ヶ月)
	高齢者ボランティア謝金	20,000	2名×10回×1000円
小 計 (E)	397,275		
補助対象外経費			
	小 計 (E)	0	
合 計 (D)	397,275		

- ※1：事業に係る収入はすべて記入してください。
- ※2：収入の合計(C)＝支出の合計(D)となるように記入してください。
- ※3：枚方市補助金(一般)(A)は、補助回数により記入可能な金額が異なります。(詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること)
- ※4：枚方市補助金(団体)(B)は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。(通知がなかった、または今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること)